

全国花火名人選抜競技大会 ふくろい遠州の花火2019

開催要項（案）

開催日：8月10日（土）・予備日8月11日（日）

全国花火名人選抜競技大会ふくろい遠州の花火は、1995年、豊田順介会頭（当時）が花火の質・量を高め多くの方に花火の楽しさを発信するため、「静橋」付近にて開催されていた花火大会の会場を原野谷川親水公園に移しました。2年後の1997年には、日本煙火芸術協会の小口昭三会長（当時）のご尽力により12社の花火会社参加による全国花火名人選抜コンクール（現在：全国花火名人選抜競技大会）を開催し、全国から選りすぐりの花火名人を招聘して規模を広げました。

2012年からは、文化庁より全国花火名人選抜競技大会における日本伝統の花火文化と煙火技術、芸術性を評価され、優勝者に文部科学大臣賞が授与されることとなり、全国屈指の花火大会としてブランド化を図り、価値ある競技大会、注目される花火大会となっております。

平成時代に始まった当大会は新時代を迎え、「花火の町ふくろい」の定着に向けて、花火をキーワードとして地域の魅力を全国に発信していきます。また、大会運営にあたっては安全・安心をキーワードに地域力を結集して臨み、来場者、会場周辺住民、関係者すべての皆様に感動をお届けする大会を目指します。

1. 2019大会テーマ

「花火の町ふくろい」～新時代にスクラム！夢と希望へトライ！～

新元号“令和”での初めての花火大会です。また本年はラグビーワールドカップ日本大会が地元エコパスタジアムで開催される記念すべき年です。新時代に向かって地域が団結し、夢と希望をもって進んでいこうという思いを大会テーマに込めました。男性にも女性にも幼児からシルバー世代まで世界中で楽しまれ伝統と誇りを持つラグビーのように、当大会も携わったすべての人々の人生を豊かにする感動的な大会を目指します。

2. 開催方針

開催にあたっては、大会テーマ『「花火の町ふくろい」～新時代にスクラム！夢と希望へトライ！』を実現し、花火の町ふくろいの定着と大会の継続実施のため、開催方針を以下の4つの軸を元に具体的取り組みを示します。

- (1) オール袋井体制で安全・安心・安定した大会運営
- (2) 花火ブランド価値向上
- (3) 「花火の町 ふくろい」の発信
- (4) 郷土愛を育み子供たちの未来につなげる活動支援

3. 具体的な取り組み

- (1) オール袋井体制で安全・安心・安定した大会運営
 - ①袋井警察署、袋井消防署、袋井土木事務所、袋井市役所等に指導協力を仰ぐ。
 - ②自治会と連携し、会場及び会場周辺の雑踏対策・交通渋滞等の安全対策を効果的に行う。
 - ③効果的なガードマン配置、看板設置により、未然に事故防止を図る。

- ④袋井・愛野両駅を効率的に利用した誘導対策を行う。
- ⑤打ち上げにあたっては十分な安全確認をして進行する。
- ⑥雑踏対策として売店をエリア別に安全確認のうえ配置をする。
- ⑦会員売店、露天商の発電機、火気取扱い、衛生面の安全対策を継続して徹底する。
- ⑧売店の衛生面、利便性を考慮しキャスレス対応を推進する。
- ⑨万一の事故に備え賠償保険の内容を充分検討の上加入する。
- ⑩自然災害発生時の対応を市と協議し対策を強化する。
- ⑪熱中症患者ゼロを目標に対策を行う。
- ⑫迷惑駐車の根絶に向けた対策を行う。
- ⑬ゴミのポイ捨て防止のためゴミの持ち帰り運動の推進と効果的なコンテナ設置等対策を行う。
- ⑭喫煙マナー向上のため有料観覧エリアを禁煙とする。
- ⑮大会本部を中心に従事箇所への指示連絡チェック体制を強化する。
- ⑯従事箇所ごとに内容、対策の共有化を図るため事前説明会を徹底する。
- ⑰役職員一丸となって企業協賛を募り、健全な財政を維持し、限られた予算を有効かつ効率的に執行するため支出を抑制するなど円滑な大会運営を実現する。

(2) 花火ブランド価値向上

- ①文部科学大臣賞を冠に煙火芸術を競演する全国花火名人選抜競技大会を開催する。
- ②趣向を凝らした企業花火と競技大会花火の多彩なプログラム編成で観客が感動しまた見たくなる花火大会を実施する。
- ③間近で音と光の総合芸術としての花火を堪能し感動できる有料観覧席を設ける。
- ④花火発祥の地である三遠南信の花火文化をプログラムに取り入れ広域連携を図る。

(3) 「花火の町ふくろい」の発信

- ①花火もりあげ大使を任命し「花火もりあげ隊」によるメディアと連携したPRを行う。
- ②JR 袋井駅前でおもてなし活動を行う。
- ③BS 放送でのライブ中継を検討する。
- ④ラジオ放送と協力し全国花火川柳大会を実施し「花火川柳」の普及を図る。
- ⑤beyond2020 認証プログラムとして、国際化対応のため公式ホームページの外国語版、プログラムチラシ等の外国語併記を検討する。(認証番号：a0012182)
- ⑥花火イメージキャラクターのゆるキャラ「どまんニヤカ」を積極的に活用する。
- ⑦ラグビーワールドカップのメモリアルイヤーであることを発信する。

(4) 郷土愛を育み子供たちの未来へつなげる活動支援

- ①市内小中学校を対象に第20回絵画コンクールを実施する。
- ②市内小中学校、高校生、大学生各種団体等の協力を仰ぎ大会翌日クリーンアップ作戦を実施する。
- ③ラグビーワールドカップ開催地として子供たちのラグビー普及活動に花火こども有徳基金を通して支援する。